



頑張るあなたを独りにしない

名古屋市会議員

久田くにひろ

プロフィール

昭和58年12月31生まれ。瑞穂区生まれ。
陽明小・汐路中・天白高を経て青山学院大学経済学部卒業、名古屋大学大学院経済学研究科修了。
不二家・京セラ(KDJ)で法人営業に従事。

街頭活動

1,351回

12月末日時点

市の仕事を決める

市会議員の仕事って？

予算や条例など市民に重大な関わりのある事項について、市民に代わって意思決定を行います。また、調査権に基づき、市の仕事が正しく行われているかチェックします。



地域の声を聞く活動

1 地域の現状・課題の把握 市政について調査研究

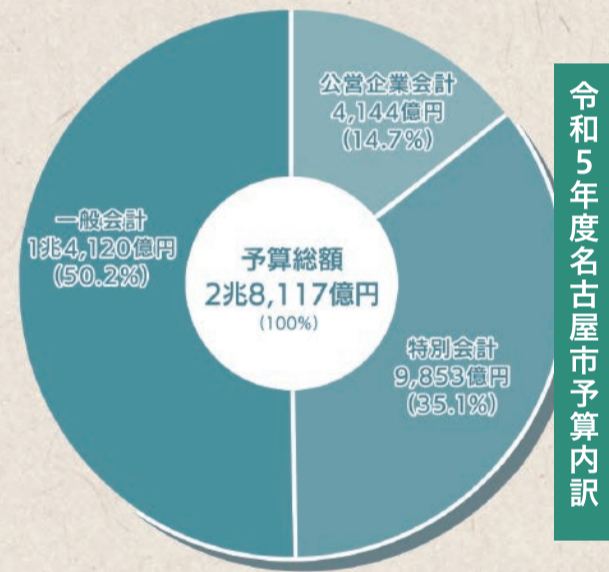
例えば、街頭活動や座談会などで意見や情報を収集します。また、牧義夫衆議院議員と連携し、国の動向を把握しつつ、市政に提案できるように調整します。他に、ひとりひとりの声を伺い、解決に向けての方法を考えます。

2 本会議へ参加して 個人質問を行う

普段の調査研究に基づいて、市政全般に対して、質問や提言を行い、行政の方針の変更を促します。



次のページを見てね



3 グループ(6委員会)に分かれて より詳しく議論する

市長の提案や行政の事業のアイデアなどについて詳しく話し合い、その結果をまとめます。

※今年度は教育子ども委員会に所属(久田)



より深く議論する

4 本会議に参加して 意思決定(議決)を行う

各委員会の報告をもとに、定例会に提出された予算(案)や条例(案)などについて意思決定します。

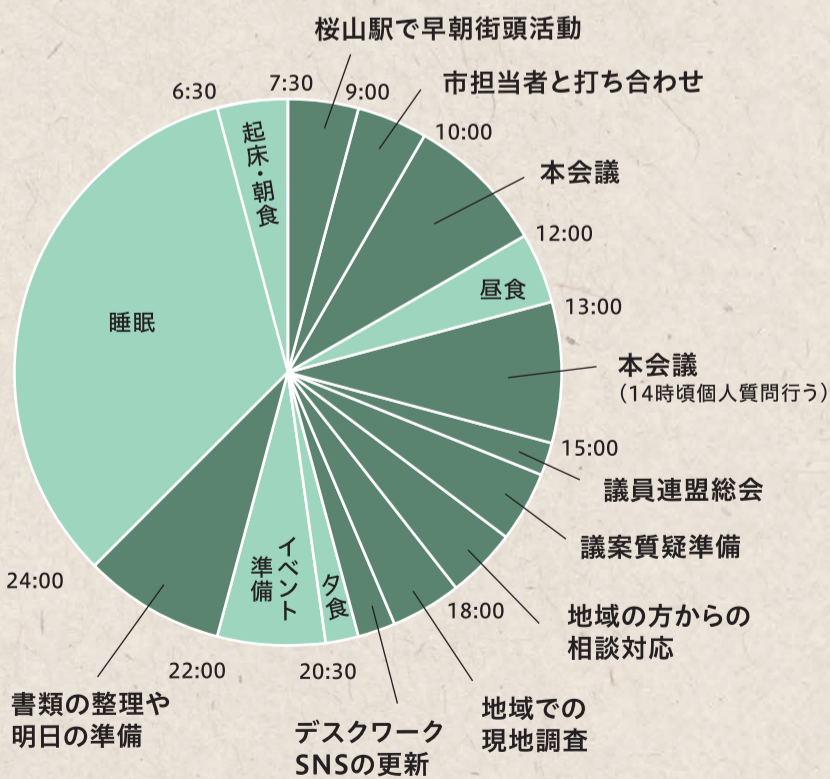


最後に意思決定を行う

普段は何をしているの？

とある市会議員の1日

※2023年11月24日(金)





ひとりひとりの声を受けて、個人質問に挑みました



01 産後ケア事業の拡充



久田くにひろ

こども未来戦略方針で掲げられているように、妊娠期からの切れ目のない支援の拡充、とりわけ産後ケア事業の拡充が急務である。利用要件の緩和、利用料金の軽減、対象者の利用期間の延長を図り、産後ケアを必要とする人すべてが利用できるものとなるように、産後ケア事業の拡充を行うべきでは??

02 不妊治療費助成制度の創設



久田くにひろ

昨年からは保険適用となり、医療機関の窓口負担額は治療費の3割に抑えられた。しかし、保険適用で「経済的負担が増えた」と答えた人が33%との調査結果が出ている。治療内容によっては保険適用外になるなどの理由からだ。不妊治療の経済的負担軽減を図るため、他都市と同様に、独自の不妊治療費助成制度を創設すべきでは??

議員ご指摘の内容の実施は、利用手続きの簡素化なども検討する必要があるが、支援を必要とする母親にとって、より利用しやすく、必要な支援が受けられる制度とすることは重要であるため、事業の拡充に向けて検討していきます。



子ども青少年局長

若い世代が希望を持って暮らし、安心して結婚し、子どもを産み育てられる環境づくりは重要であると認識している。現状と課題を関係機関と共有しながら、実施に向け、具体的に検討していきます。

03 グリーンインフラの推進 雨庭などを活用した環境配慮の導入、社会インフラへの実装

ネイチャーポジティブなど世界的な社会情勢の変化を受け、あらゆる分野・場面でグリーンインフラを実装する、新たなフェーズへの移行が求められるようになったが、市民に十分に理解が進んでいるとは言い難い。雨庭などを活用した環境配慮の導入を進め、多くの市民にグリーンインフラの効果や重要性を理解していただくことが必要では??



久田くにひろ



雨庭とは?

地上に降った雨水を下水道に直接放流することなく一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる構造を持った植栽空間のこと。雨水流出抑制の効果に加え、修景・緑化、水質浄化、ヒートアイランド現象の緩和などの効果も期待され、グリーンインフラの一つとして注目されています(京都市HPより引用)。



環境局長・緑政土木局長

生物多様性に配慮した緑化や雨庭などの導入を、名城公園や街園などで進め、多くの市民にその効果や重要性を伝えられるよう努めていきます。また、グリーンインフラの実装を、公園の整備やリニューアルなどで進めることを検討していきます。